

Windows ストアを介さないアプリの配布

# 企業内への Windows 8 アプリの展開

Windows 8 サイドローディング



# 目次

Windows 8 アプリ エンタープライズ サイド ローディングとは	3
企業内へのアプリの配布 サイドローディング Step 1～4	4
エディション別による企業 IT による配布 (サイド ローディング) の条件	5
Step1 サイドローディング キーの入手	6
Step2 キーの有効化① コマンドプロンプト	7
Step2 キーの有効化② VAMT を利用した集中展開	8
➢ VAMT へのサイドローディング キーの登録と認証残回数の参照	9
➢ VAMT 経由でのサイドローディングキーのインストールとアクティベーション	10
Step3 ポリシーの有効化	18
Step4 アプリの展開 3つの方法	19
Step4 アプリの展開 A) Windows PowerShell	20
◆ Appendix AD を利用したバッチ配信も可能	21
Step4 アプリの展開 B) SCCM 2012 SP1	22
➢ SCCM 2012 SP1 経由でアプリの展開 - アプリの配布	24
Step4 アプリの展開 C) Windows Intune	27
➢ Windows Intune 経由でアプリの展開 - アプリの発行	29
➢ Windows Intune 経由でアプリの展開 - インストール (クライアント側)	40
◆ Appendix アプリの展開 プロビジョニング	42

# Windows 8 アプリ エンタープライズ サイド ローディングとは

Windows 8 では、Windows ストア経由でのアプリ配布が標準になりました。しかしながら、企業においては、自社用業務アプリ等を社内配布したいという要求があります。

そこで、Windows 8 では、ストアを介さないアプリの社内展開手法もご用意しており、これまで通り、業務アプリを社内配布することができます。

このアプリの社内展開手法を、『**サイドローディング**』と呼びます。

## 標準配布方法

Windows ストアからダウンロード



公開されたアプリ



アプリ



サイド  
ローディング

## 企業ITによる配布

Windows ストアを経由せず直接デバイスへ  
**サイドローディング**

社内ポータル  
サイト



# エディション別による 企業 IT による配布 (サイドローディング) の条件

エディション	サイドローディング	サイドローディング キーの購入	キーの有効化	ポリシーの有効化
Windows 8	NO	—	—	—
Windows 8 RT	YES	必要	必要	必要
Windows 8 Pro	YES	必要	必要	必要
Windows 8 Enterprise ドメイン非参加	YES	不要*	必要	必要
Windows 8 Enterprise ドメイン参加	YES	不要*	不要	必要

\* SA (ソフトウェアアシュアランス) 特典として、サイドローディング キーが提供されます。

# Step1

## サイドローディング キーの入手

以下のライセンスを保有している場合には  
**特典**として入手可能

- Windows を含む Enterprise Agreement
- Windows を含む Enterprise Subscription Agreement
- Windows を含む Enrollment for Education Solutions
- Windows を含む Campus Agreement および School Agreement
- Windows SA(ソフトウェア アシュアランス) を含む Select および Select Plus

以下のライセンスを保有している場合には  
**別途購入**可能

- **Select** および **Select Plus**
- **Open License**

ボリューム ライセンス リセラーについては、  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/how-to-buy/default.aspx> をご参照ください。

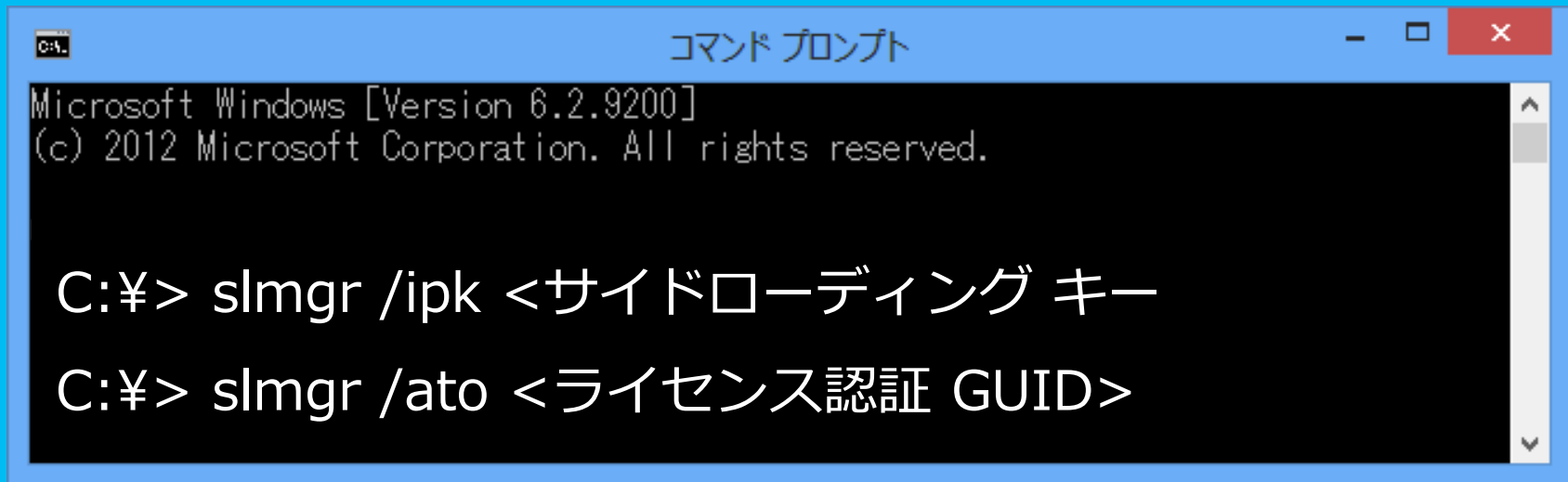
また、既にボリューム ライセンスをご契約のお客様は、  
ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) を通じて購入することができます。

# Step2

## キーの有効化① コマンド プロンプト

“端末ごと” に有効化する

OS に組み込まれているコマンドを利用してインストールとアクティベーションを実行します。



```
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥> slmgr /ipk <サイドローディング キー>
C:¥> slmgr /ato <ライセンス認証 GUID>
```

※ サイドローディング キー は、サイドローディングを有効にするための 25 桁のキーです。

※ **ライセンス認証の GUID** は、サイドローディング キーとは異なります。

ライセンス認証の GUID は常に **ec67814b-30e6-4a50-bf7b-d55daf729d1e** になります。

# Step2

## キーの有効化② VAMT を利用した集中展開

IT 管理者は、VAMT (ボリュームアクティベーション管理ツール) を使用して、組織内のコンピューターに対するサイドローディング キーの**ライセンス認証の処理を自動化し、一元的に管理できます。**

詳細については、ボリューム ライセンス認証管理ツール (VAMT) に関するドキュメント (Vamt.chm) を参照してください。

既定では、Vamt.chm は

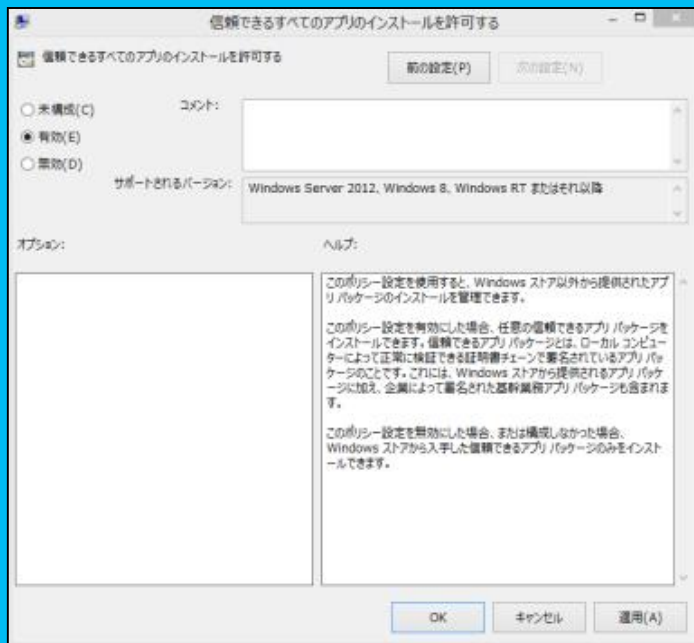
%PROGRAMFILES%\Windows AIK\Docs\CHMs にインストールされます。

# Step3 ポリシーの有効化

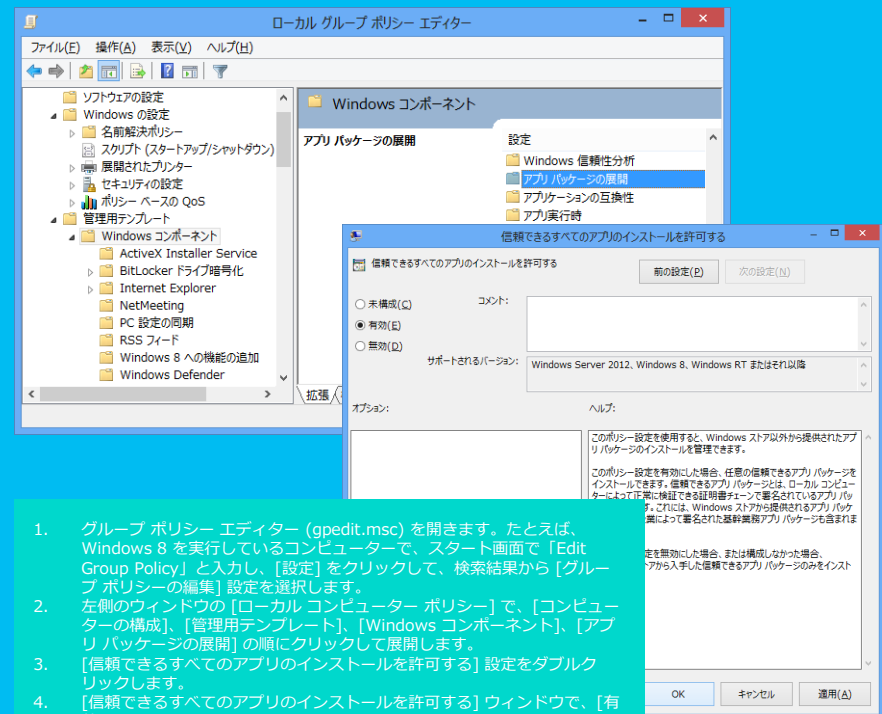
## 1) ドメインに**参加**の場合 グループポリシーの有効化



信頼できるすべてのアプリの  
インストールを許可する



## 2) ドメインに**非参加**の場合 ローカル グループ ポリシーの有効化



1. グループ ポリシー エディター (gpedit.msc) を開きます。たとえば、Windows 8 を実行しているコンピュータで、スタート画面で「Edit Group Policy」と入力し、[設定] をクリックして、検索結果から [グループ ポリシーの編集] 設定を選択します。
2. 左側のウィンドウの [ローカル コンピューター ポリシー] で、[コンピューターの構成]、[管理用テンプレート]、[Windows コンポーネント]、[アプリ パッケージの展開] の順にクリックして展開します。
3. [信頼できるすべてのアプリのインストールを許可する] 設定をダブルクリックします。
4. [信頼できるすべてのアプリのインストールを許可する] ウィンドウで、[有効] をクリックし、[OK] をクリックします。



# Step4

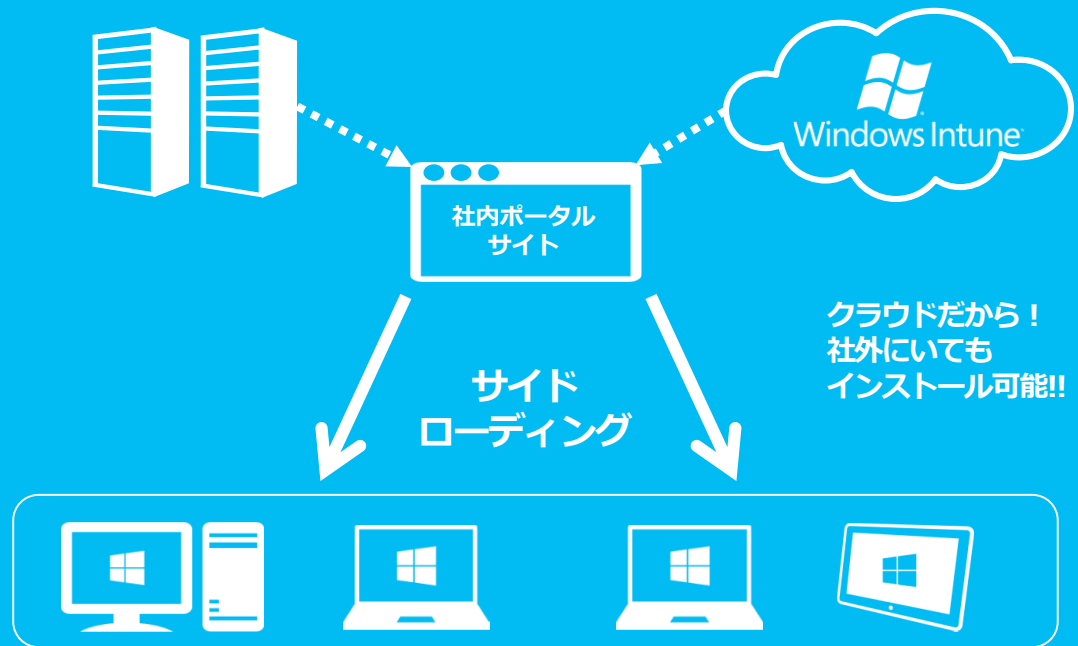
## アプリの展開 3つの方法

### A) PowerShell

OS 標準のコマンド  
(Windows PowerShell)  
を利用してアプリを追加

### B) SCCM 2012 SP1

### C) Windows Intune

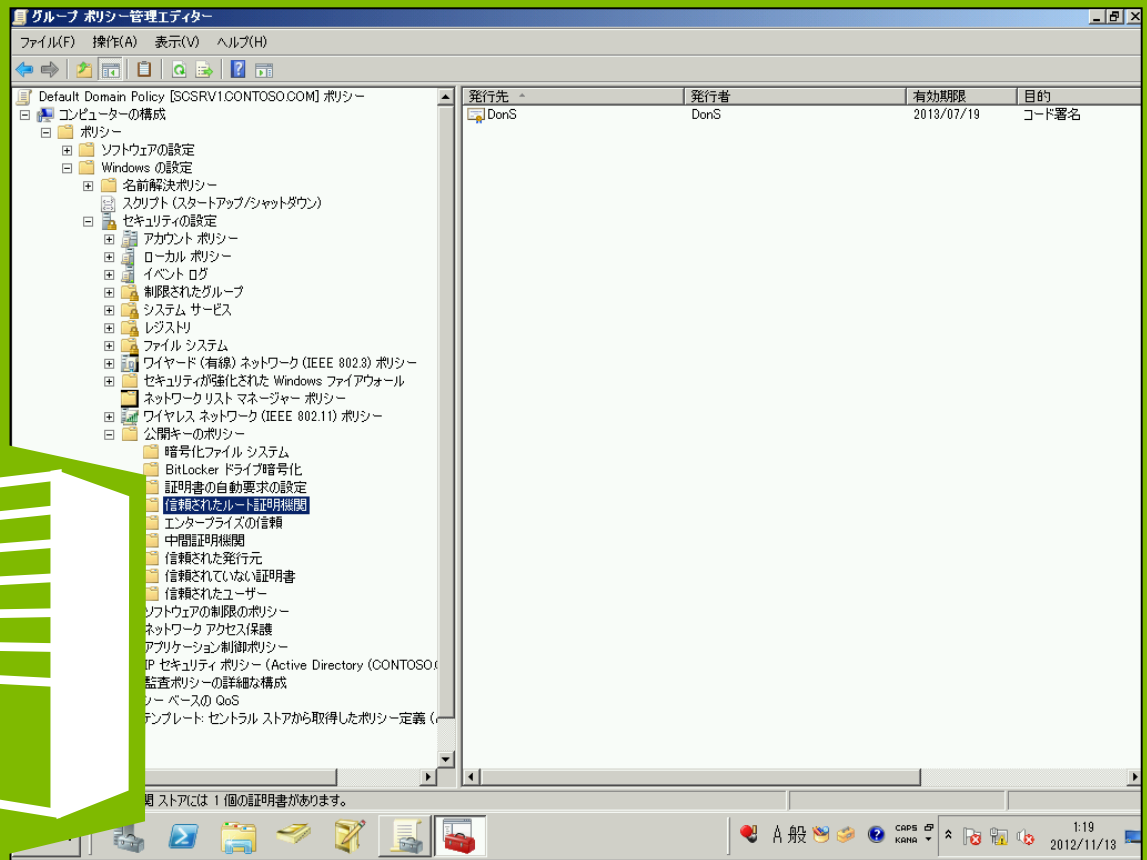
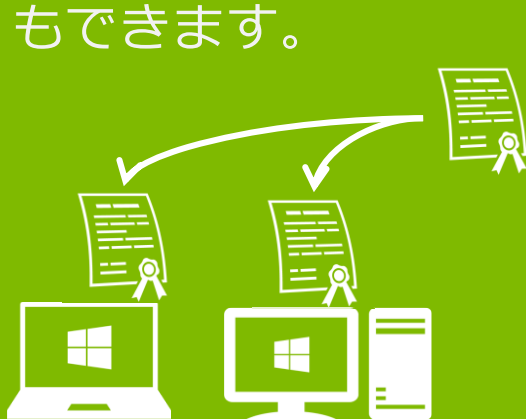


※ OS キットアップ時に、WinRT アプリを OS イメージに組み込み展開することも可能 (プロビジョニング)

# Appendix

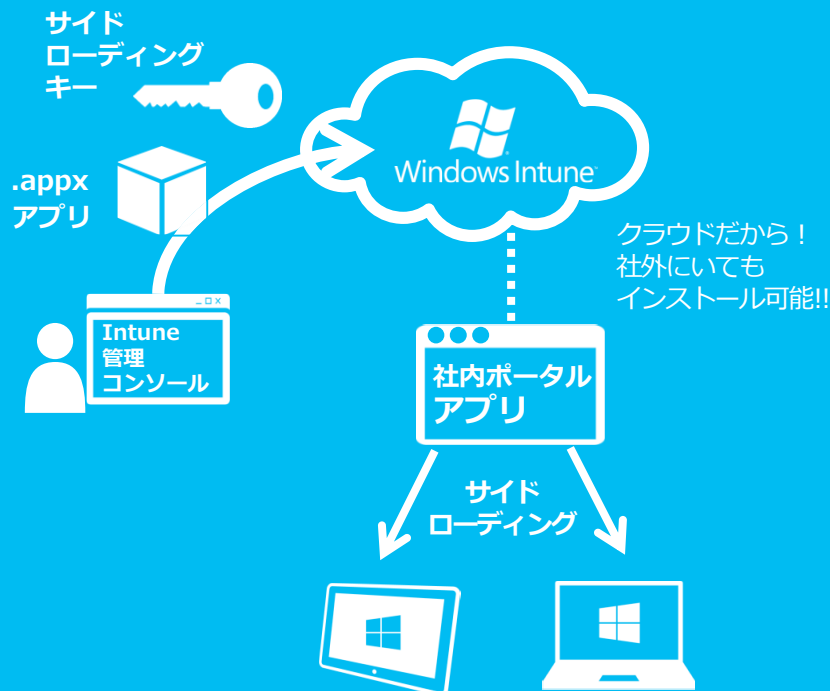
## AD を利用したバッチ配信も可能

Active Directory のグループポリシーの利用で、WinRT アプリの利用に必要な証明書を、各デバイスに容易に配布することもできます。



# Step4 アプリの展開 Windows Intune

署名済みパッケージを Windows Intune サービスに直接アップロードし、管理対象デバイスに“サイドローディング”できます。



## 社内ポータルアプリ



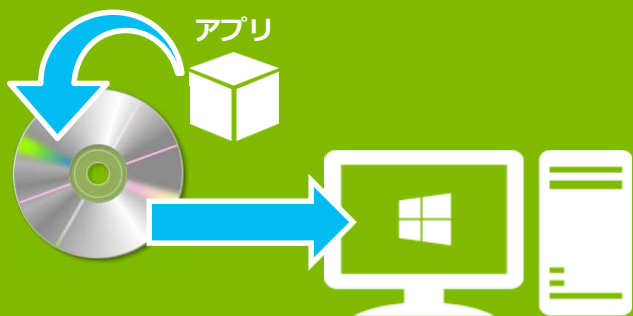
※ Windows Intune のサイドローディング先とすることが可能なモバイル デバイス プラットフォームと、そのプラットフォームに必要なソフトウェア ファイルの種類を示しています。

プラットフォーム	ファイルの種類
Windows RT	.appx
Windows Phone 8	.xap
iOS	.ipa および .plist マニフェスト ファイル
Android	.apk

# Appendix

## アプリの展開 プロビジョニング

OS 展開時の Windows イメージにアプリを組み込み配布することもできます。



### アプリのプロビジョニング

Windows イメージにインストールされているアプリを、プロビジョニングされたアプリと呼びます。

プロビジョニングされたアプリはイメージにステージングされ、その Windows イメージのすべてのユーザーに対して最初のログオン時にインストールされるようにスケジュールされます。

アプリを Windows イメージに追加するには、イメージを展開する前に監査モードで起動して、DISM のアプリ プロビジョニング コマンドや PowerShell による WinRT アプリの追加を使います。

#### 例 1) コマンドプロンプト

```
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:
DISM /Online /Add-ProvisionedAppxPackage
/PackagePath:C:¥App1.appx /Skiplicense
```

OR

#### 例 2) Windows PowerShell

```
Windows PowerShell
Copyright (C) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Add-AppxProvisionedPackage -Online -FolderPath
C:¥Appx
```